

JI3ZAG

Osaka I-House Radio Club

Newsletter

July 2006



6月10日11日に関ハムが開催されました。大阪国際交流センター・ラジオクラブは出展しました。懐かしい再会や、新しい出会いがありました。



池田市長ご挨拶



昭和30年代



JI3ZAG 大阪国際交流センター・ラジオクラブ

会員募集 : アマチュア無線を通じての国際交流活動を志す方の参加を歓迎します。

連絡先 e-mail: ji3zag@ja3.net



コンテスト表彰を受ける JK3IYB



IOTA ブースでも SEANET の PR



JAIG 2006 ミーティングに参加

ベルヒテスガーデンで開催された JAIG ミーティング 2006 に参加して

JE3BEQ 宮本 誠一

22 回目を迎える今年の JAIG ミーティングは、5 月 12 日から 14 日の三日間、オーストリアのザルツブルグ空港から車で 30 分のところにあるドイツのベルヒテスガーデンで開催された。会期中は地元の人々が幸運だと言うぐらいの快晴続きで、まさに今回のミーティングを祝福しているようであった。

I-House ラジオクラブのメンバーがホストした 2004 年の大阪でのミーティングに初参加したとき、長年続いてきたドイツと日本のハムのアットホームな付き合いの魅力に惹かれ、退職したら妻とぜひ参加したいと決めていた。しかし今回は事情があって当初参加を諦めていたが、無性に行きたい気持ちが抑えられず土壇場での申込を受けて頂き一人で参加した。

10 日の朝閑空を出発しその日の夕方ザルツブルグ空港に着いたが、飛行機乗り継ぎの 14 時間はやはり長く遠く感じた。空港ではハンスさん (DF2MC)・みつ子さん夫妻に迎えて頂いた。2 年前にお会いしたとは言えお互いにすぐ分かるか心配したが、日本人は私一人で飛行機を降りて歩いているところをバッチリ空港ビルの屋上から写真に撮られていた。握手したときはもう記憶が蘇って懐かしさがこみ上げてきた。ホテルに着いて髭をそり、晚餐中の早出組みの人たちの歓迎を受けた。エリカさんが抱いて歓迎してくれたが、日本では照れくさいものの十分絵にはなっていたと思う。写真でご紹介できないが熱烈歓迎ぶりをご想像下さい。



11 日は午前中ゆっくりして、午後から雄大な景観コース (イエンナー山 : アルプス連邦の片一方の略スタ

ート地点) または歴史検証コース (オーバーザルツブルグ : 第二次大戦の資料展示) に分かれて観光した。



私は今回は歴史の重みを感じるのとは避けたいと考え、雪が残るイエンナー山を選んだ。9 合目までロープウェイで登り、好きな写真を心行くまで撮って記憶に残そうとした。歴史コースを選択した人はどのように楽しんだであろうか。夕方ホテルに帰ってきたらエリカさんが受付コーナーを開いていて、参加者の 8 割近くの人が集まっていた。日本からのメンバーは、野田さん (JA1FY)、五十嵐さん (JA1DKN)、渋江さん (JG1NQO)、大西さん (JA3PE) の全員が勢揃いした。また大阪ミーティングの懐かしいメンバーのブツさん夫妻 (DJ9WH、DJ7KJ)、カエコさん夫妻 (DK9QZ、DO3LKP) そして初めてお会いする井口さん (DJ0CT) 夫妻、長倉さん (DJ0ER) 夫妻、西間さん (JA3QUU) のエコーリンクの友人で合気道 5 段のギンターさん (DG2YEL) 夫妻と一人またひとり友達が増えていった。



宴会でエリカさんが新調した JAIG 旗を壱岐さんが披露したが、盛り上がった二人は抱き合って熱烈なキス、皆やんやの喝采であった。ハンスさん夫妻は毎晩宴会の盛り上がりを確認して、明日の準備のためにホテルから 30 分位かかる自宅に帰って行かれた。毎日本当にお疲れ様でした。



12日は午前中ベルヒテスガーデンにある岩塩鉱山（ザルツブルグワーク）に行き、坑夫の格好に着替え

てトロッコと滑り台で童心に返って奥深く入坑し、採掘の様子を見学した。



06岩塩高山を見学するメンバー



07ケーニツヒ湖

午後は観光船で透明なケーニツヒ湖を遊覧して、途中トランペットの奏でる音が山で反射するエコーを聞いたりしながら国立公園の景観を楽しんだ。夜は前日と同じように宴会があり参加者も数名増えた。

13日は一番盛り上がる日であり実質最後の日でもあるので、日中の観光夜のパーティーともに目一杯楽しむように配慮されていた。ザルツブルグの町は生誕250年とかでモーツアルト一色であった。モーツアルトの像の横に本物のヘリコプターが逆さまに置いてあった。何でも市長が造形美術のつもりで自慢げに置いたらしいが、市民からは税金の無駄だと不評をかっていとか、モーツアルトもさぞかし苦笑しているだろう。最後の観光となったヘルブルン宮殿で傑作だったのは、悪戯な大司教が16世紀に作ったあらゆる仕掛けで客人に水を吹っ掛けては舌を出して喜ぶ、一見悪趣味な娯楽設備であった。



08気に入らない風を装っているブルーノさん

例えば鹿の剥製を覗き込んでいたら細い角の先から水が噴射されたり、テーブルの周りに座っていたらお尻から水が噴き出したりするのである。案内人に誘われて子供たちとブルーノさん（DH8MAU）がそんなこととは露知らず座っていたら、子供たちは小さいので背中後ろに噴射して何とか微少被害で済んだが、彼はどかっと噴出孔の上に座っていたためびしょ濡れになってしまった。ご本人には気の毒であったが、濡れていくときの顔の表情は何とも言えず皆で大笑いした。私は大事なカメラを持っていたので本能的に用心したが、やはり被害を蒙った。しかし皆童心に返って楽しんだ。

パーティーは50余名が正装で参加した。言葉はドイツ語で一々日本語に訳すことはせず、ドイツに住んでいる日本の方々が我々の間に入って来て同時通訳的に解説してくれたので、大筋は理解でき退屈することは無かった。サイレントキーの方への黙禱の後、長年にわたりJAIGに貢献した三好二郎さん（JA3UB）に感謝の意が表され、パーティーは進んでいった。パーティーのメインイベントは2つの詩であった。一つ目はエリカさんがザルツブルグの方言で読んだ「何処でもモーツアルト」と言う短い詩で、ザルツブルグではチョコレートも傘もワインも何でもかんでもモーツアルトの名前がついていて、さぞモーツアルトは天から下を見てうんざりしていることだろう。もしモーツアルトが飛ぶ羽を持つことができれば、またそれを真似してケーブルカーもスキーヤーも飛ぶように走らるう。しかしそのためにはまずモーツアルトが天から

降りてきてスキーを練習し宣伝しなければならない。と言うような内容と理解したが間違っていたらすみません。次は坑夫の制服を着たハンスオットーさん (DF8PO)が、坑道用のランプを持って朗読した A4 で 24 ページのながあーい詩である。こんな長い詩を読まれたら進行係は残り時間が気になり聴衆は退屈すること間違いなしであるが、実は違った。題して「ザビーネちゃん」の詩の内容をご紹介します。ザビーネという名の女の子が鉱山会社に就職し給料関係の文章を書く仕事をしていた。しかし鉱山の専門用語が出てきて困り上司に聞いて教えてもらっていたが、だんだんその上司も面倒くさくなって部下のクラウゼに聞くようにと彼女に言った。クラウゼの助けを借りて報告書を書いていたら、「貴方は最高の従業員だ」と褒められるまでになった。そのうちにクラウゼが昇進して重役になりザビーネと結婚して子供が生まれた。と言う内容の可愛い詩である。余談であるが詩の三分の二をオットーさんが読み上げたとき、エリカさんが両手にコップを持って出て来た。私は余りに長い詩なので朗読しているオットーさんとマイクを持っている壱岐さんへの「水入り取り直し」の「気付けの水」と思ったが、実は物語がクライマックスに入る前のシナリオにある「景気づけ」の強い酒であったのである。オットーさんはこれで益々元気が出て滔々と最後まで読み上げた。多分壱岐さんはマイクを持った手の痺れと強い酒でフラフラであったと想像できる。お二人とも大変お疲れ様でした。この後エリカさんは日本の人たちにも特別の出し物を用意してくれていた。それは前日の岩塩鉱山の見学、



今夜のオットーさんが読んだ鉱山の詩に因んで、皆に「炭坑節」を踊らせる趣向であった。エリカさんはそのためにわざわざ楽譜を取り寄せ、地元ファミリー楽団のフルート奏者が伴奏してくれた。皆が輪を作って踊り楽しんだことは言うまでもなく、私も声を張り上げて歌いリードした。その後は JAIG ミーティング開催時期の春に因んで、恒例?の「野バラ」と「花」を全員で歌ってドイツと日本の春を謳歌した。



今回 JAIG のミーティングに参加して、改めてその雰囲気素晴らしさを感じた。ハムの関心事の設

備の大小、ロケーションの良し悪し、DX カントリーの稼ぎ等全く意識することなく、ただハムであることをきっかけに皆が年一回それぞれに苦労してでも集まる魅力は一体何なのか、そしてその答えがこの JAIG ミーティングそのものであるとつくづく感じた。最後になりましたが、今回の JAIG ミーティングを担当されたハンスさんご夫妻とそのグループの方々また全体をまとめられた壱岐さんご夫妻には大変お世話になり、心からお礼を申し上げます。また今回の楽しみを分かち合えたドイツと日本のメンバーの皆様にも心から感謝致します。また来年ぜひお会いしたいと思っています。それまで皆さんお元気で。88-73

(de JE3BEQ)

JAIG 2006



J13ZAG

Roll Call
Every
Saturday
00:00 UTC
14.155MHz